



くノ一リンの

負け染め調教

5つの秘穴と最大の弱点

くノ一物♡
負け癖調教♡

尊厳破壊♡
札責め♡

本文 **55P**

安心せい♡
スシに手性
する必要ない♡

負け 沈め 調教

5つの秘穴と最大の弱点

DOJIN
R18+
ADULT ONLY
18未満の
購入・閲覧禁止



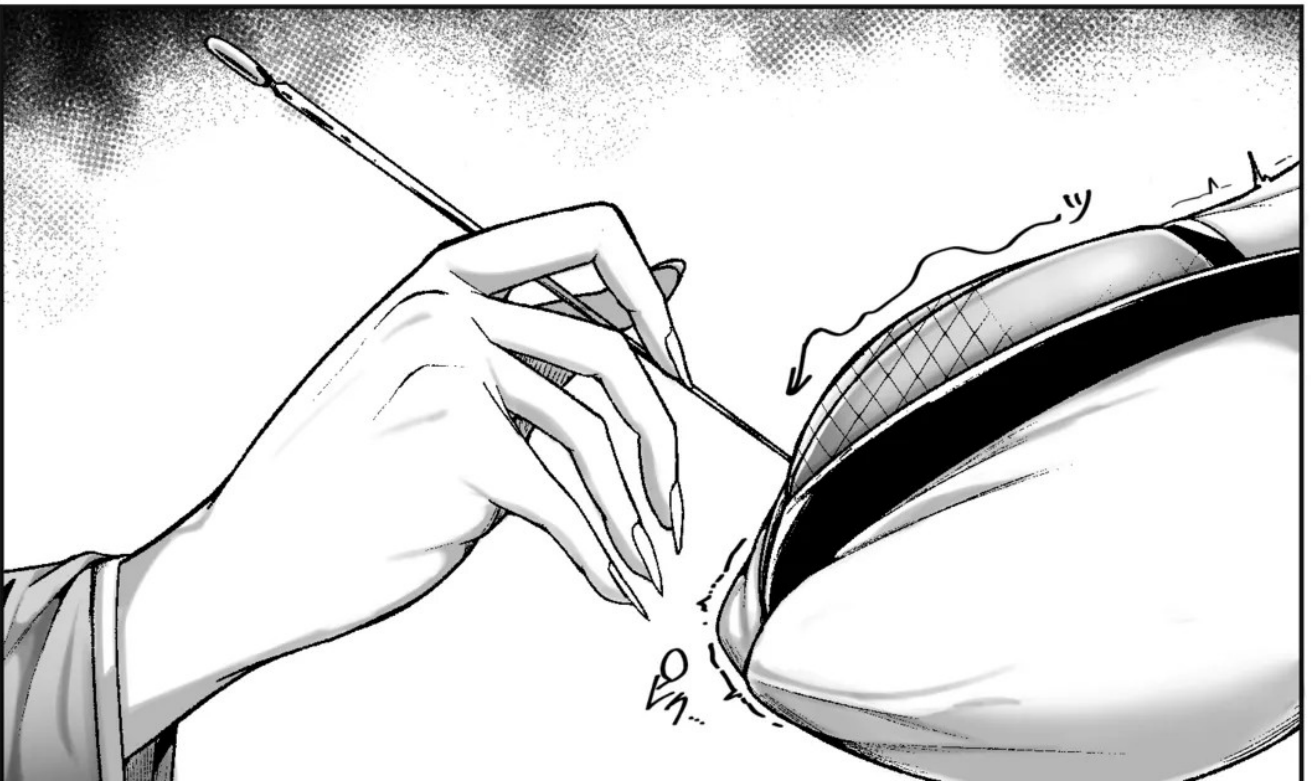
リンよ

心を隠せ

そして無くなれ

耐え忍ぶ事なかれ

それすらも
感情なのだから





よほど師を
信頼して
おるんじゃないかな♡



確かにあやつは
手強かった

忍びとして
際までおった

いくら恥かし
めても



今の主の
ようさ。



なんじゃ？

また
あやつの事でも
思い出してる
のか？

...

じり
じり



全く悲しい
もんじゃ

いくら愛でも
返ってこんと
いうのは

ズッ

“無”
そのものじゃ

やんやん

クワッ



ま
あ
♡

それもいつまで
もつか…♡

くずれる瞬間を
想像するだけで
垂涎ものじゃ♡

楽しませて
おくれよ♡

クワッ

クワッ



お師匠

ん？
どうした？



お師匠は
なぜそこまで
無の修行に
こだわるのです？

そうさ
なあ…

忍びたるもの
心を無にせねば
為せるものも
為せないと云々…



むく！

リンは優秀だ
頃合いじゃろ

気

気については
理解しておるな

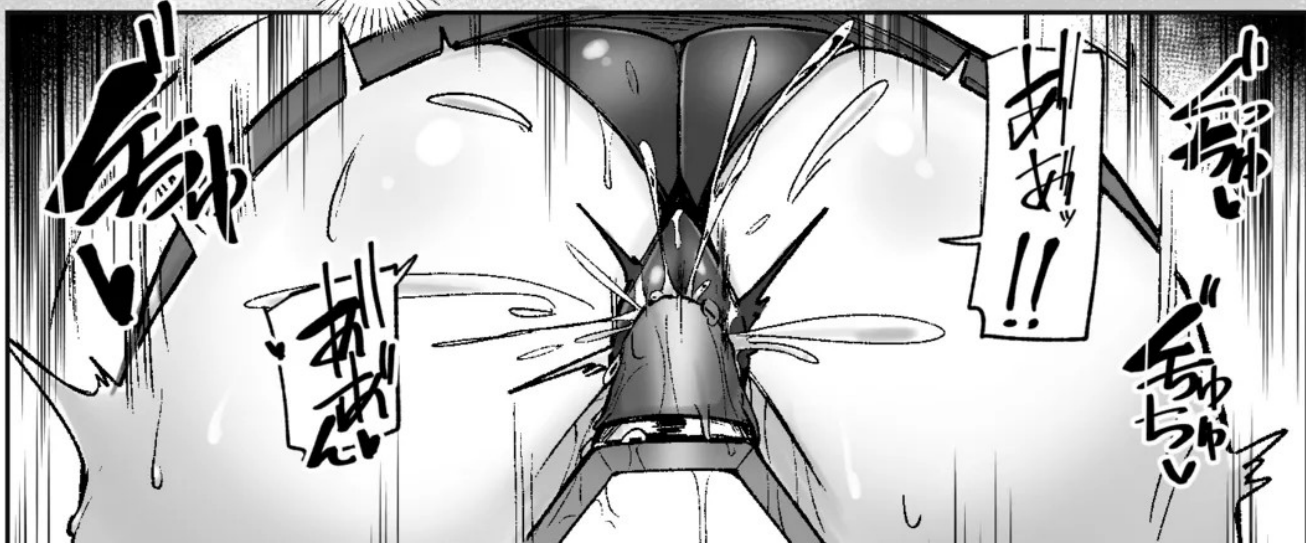
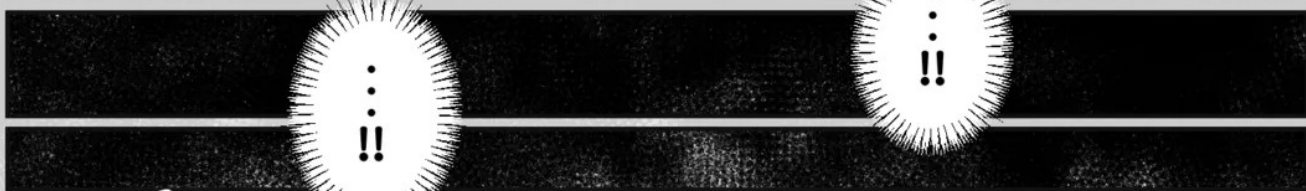
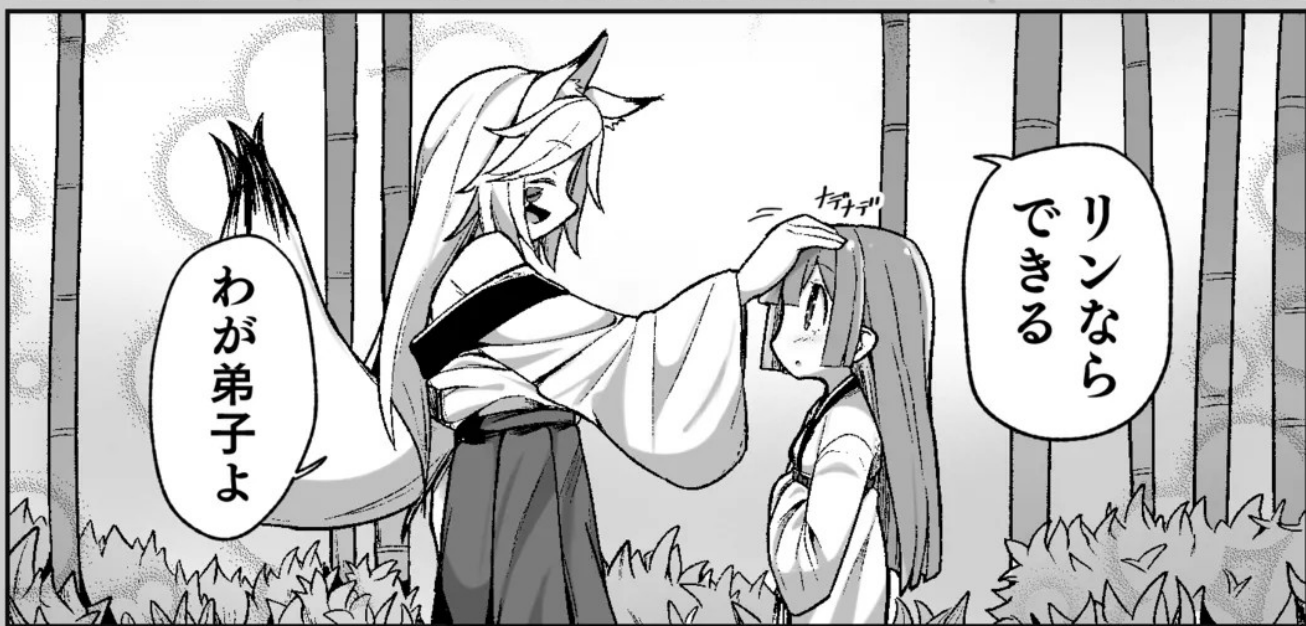
はい
欠かさず
鍛錬して
ます

実はその気の
流れの中に
五つの秘穴が
存在する

もう説法では
通らぬか…

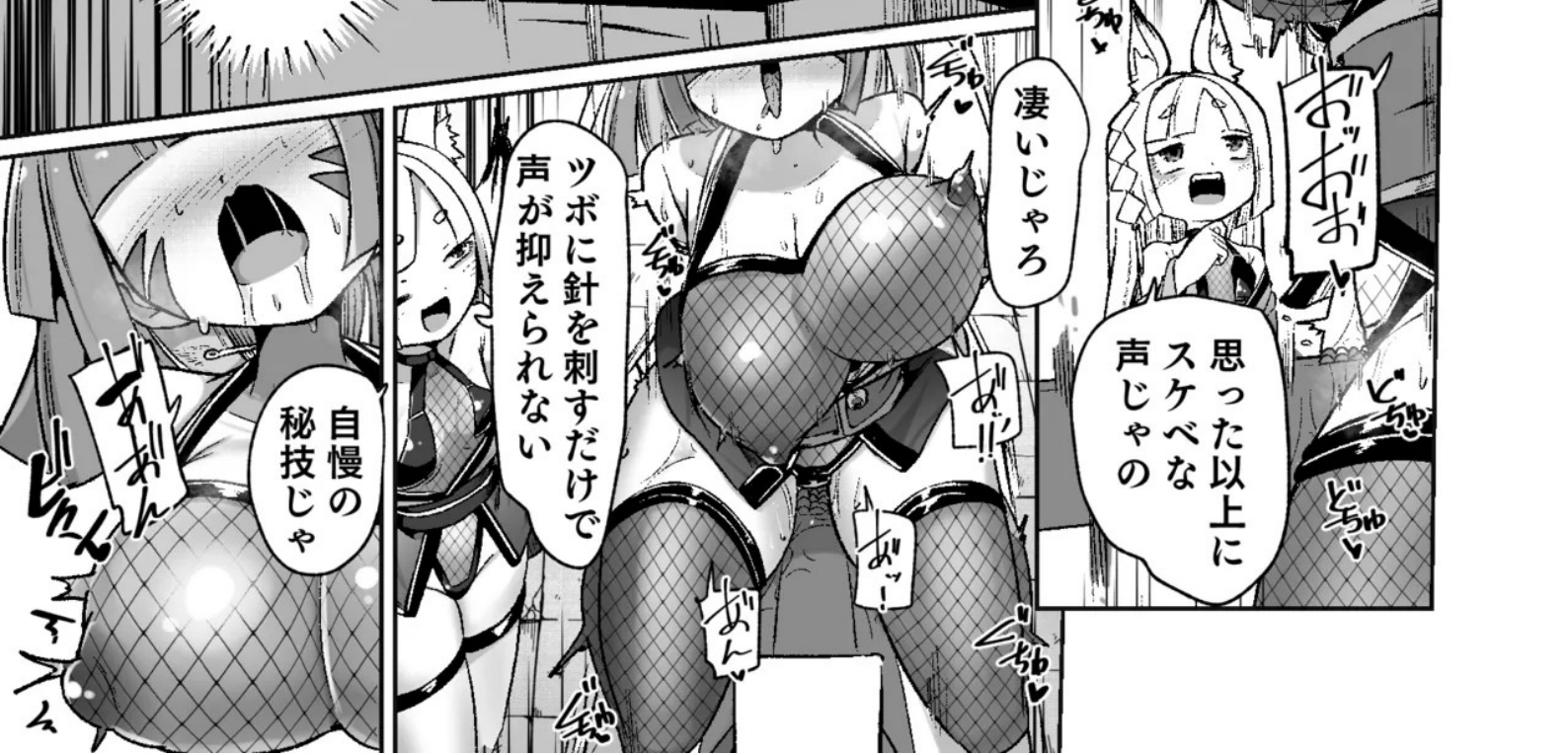
うん…







声が...
止められない...!?



自慢の
秘技じゃ

ツボに針を刺すだけで
声が抑えられない

凄じやろ

思った以上に
スケベな
声じゃの



腰のツボも
沢山あつての
これはヌシも
気に入って
くれるじゃろ♡

ふふふ

今度は
こっちじゃ♡

ほれ♡

あ!!
あ!!

あかん♡

あかん♡

あかん♡



あれま♡
ひしゃげる
ほどだったか?

そんなに
良かったかの?

あかん♡



いや...
ただスケベな
だけか♡



健気じゃの♡

しかもこんな
刺しやすい体勢に
なってくれるとは

びん



きゃ!!

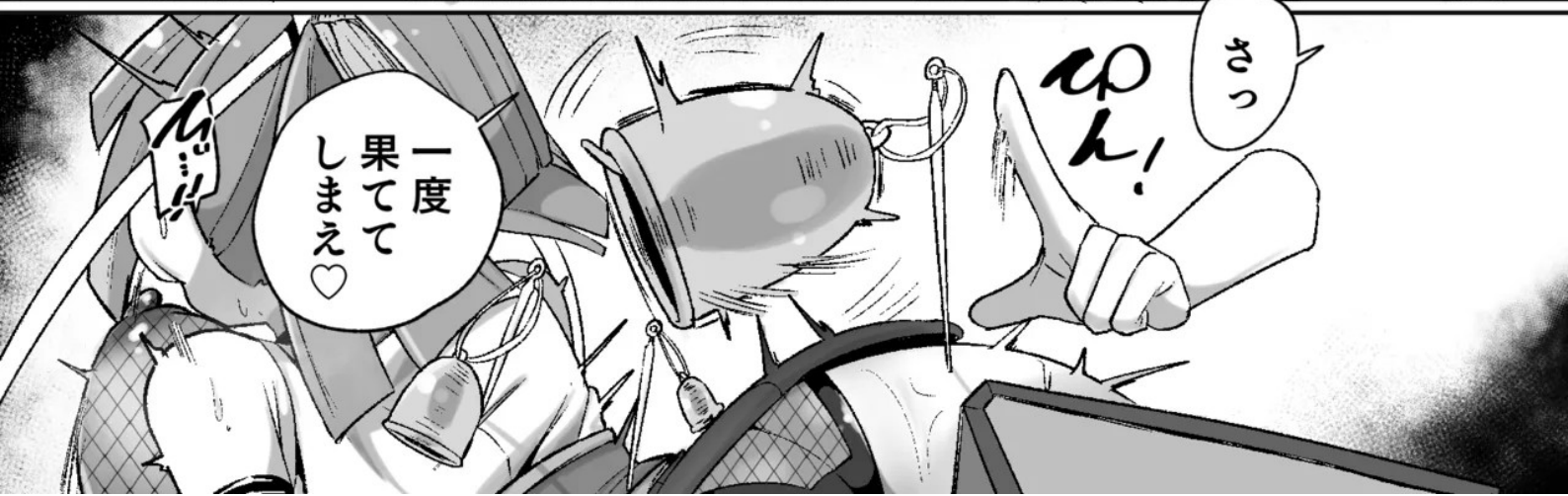
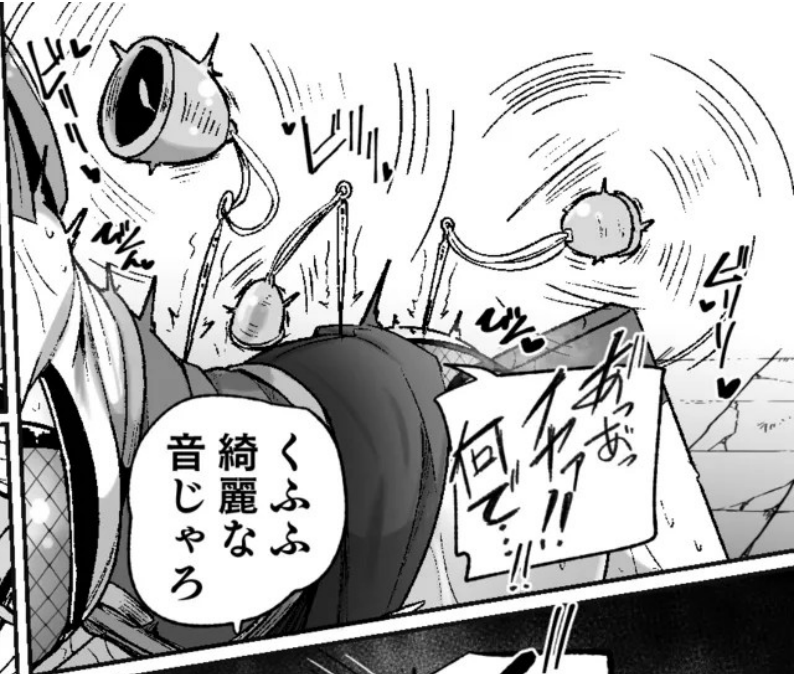
まだそんな
顔ができるか



ひん
びん
!!

なまいき...
じゃのツ!!

ちゅ



そうじゃ

術をかけた
あかつきには

書き変えた
密書を
届けてもらう
からの♡

ヌシが持ってきた
密書は預かってるでの

しっかり身体と心
とろかせておれよ♡

じゃあの

でもきつと
チャンスはある

今は耐えて
待つんだ…!!

くそ…こんな
こんな苦じゃ…!!

おあッ

ブルッ

ムンッ

ムンッ

ムンッ

ムンッ

ムンッ

ムンッ

ムンッ

ムンッ

ムンッ

ムンッ

ムンッ

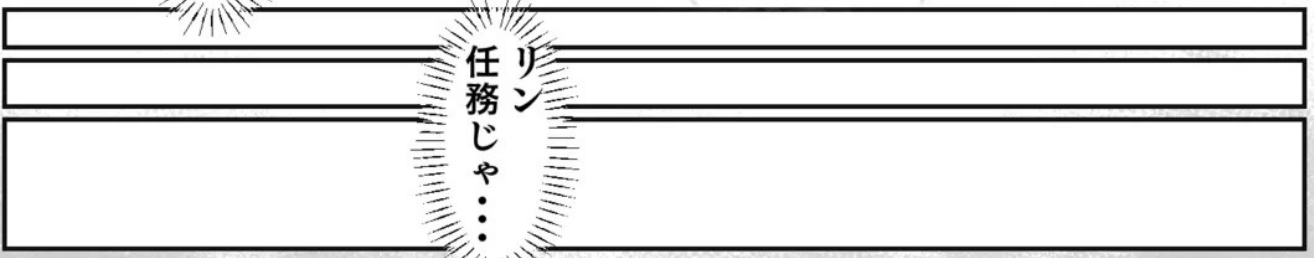
ムンッ

ムンッ

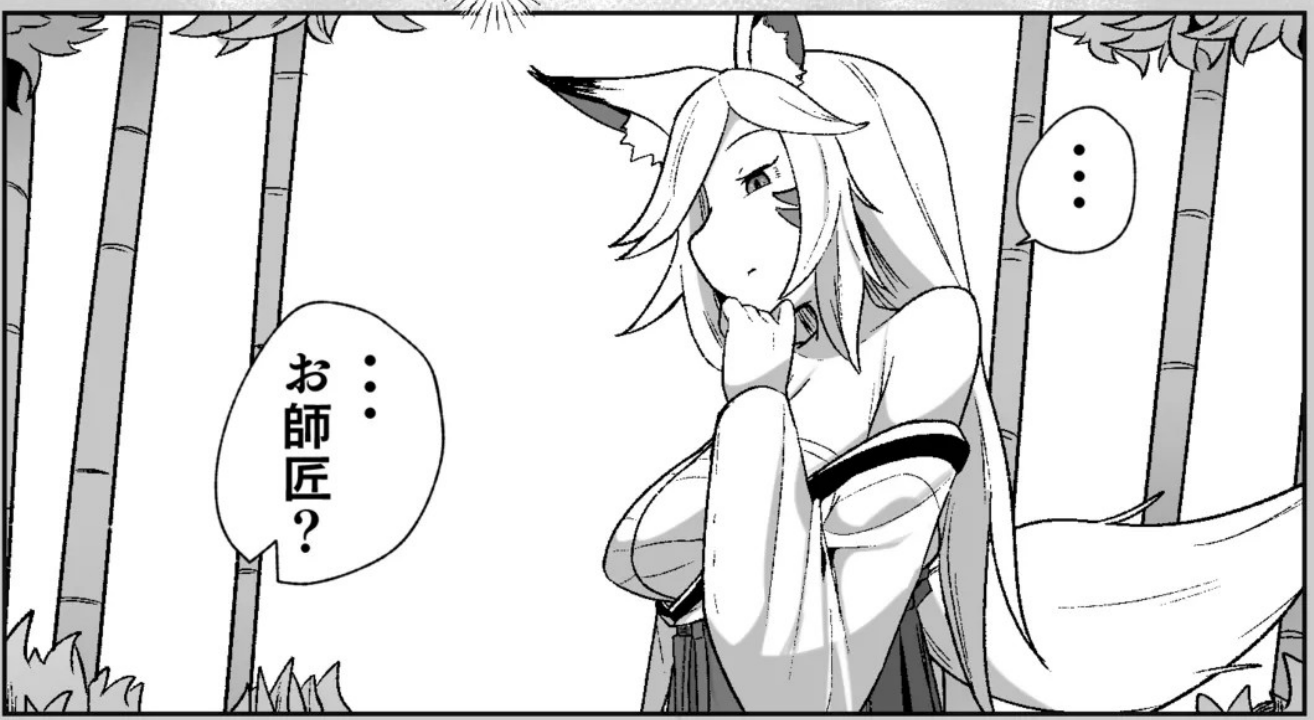
ムンッ



お師匠……!



リン
任務じゃ……



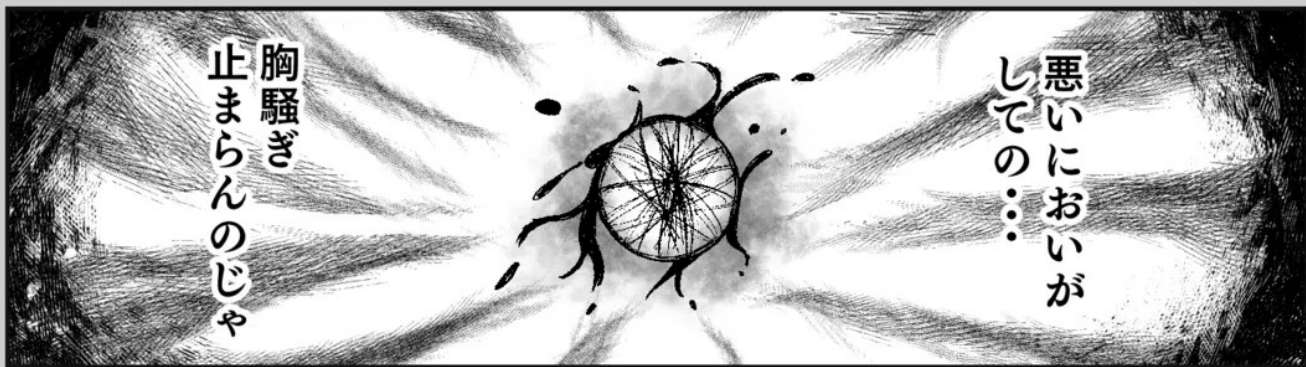
……
お師匠?

……



なにか
気になる事が?

ふむ……



悪いにおいが
しての…

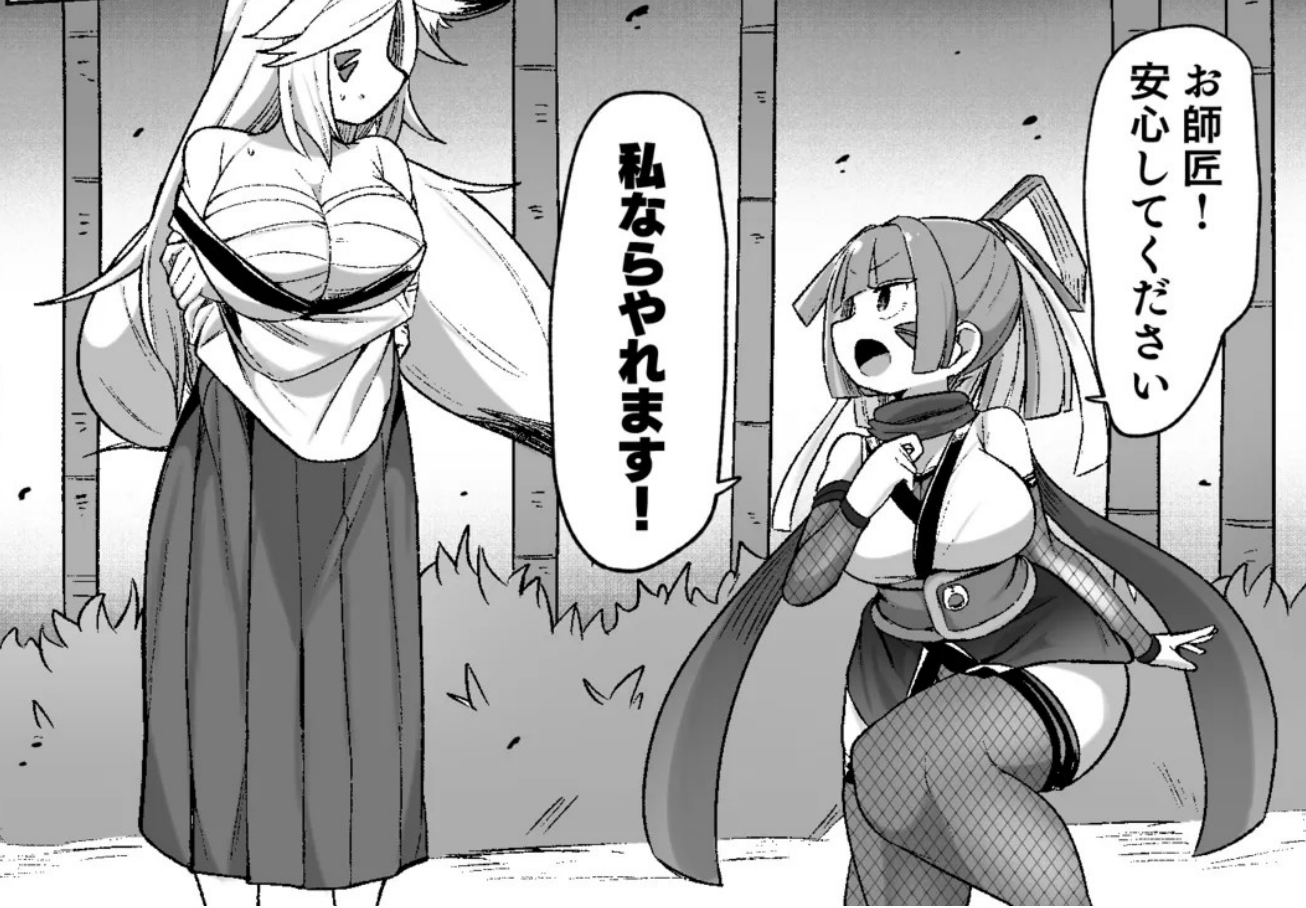
胸騒ぎ
止まらないのじゃ



本当にヌシに
行かせて
良いものか…

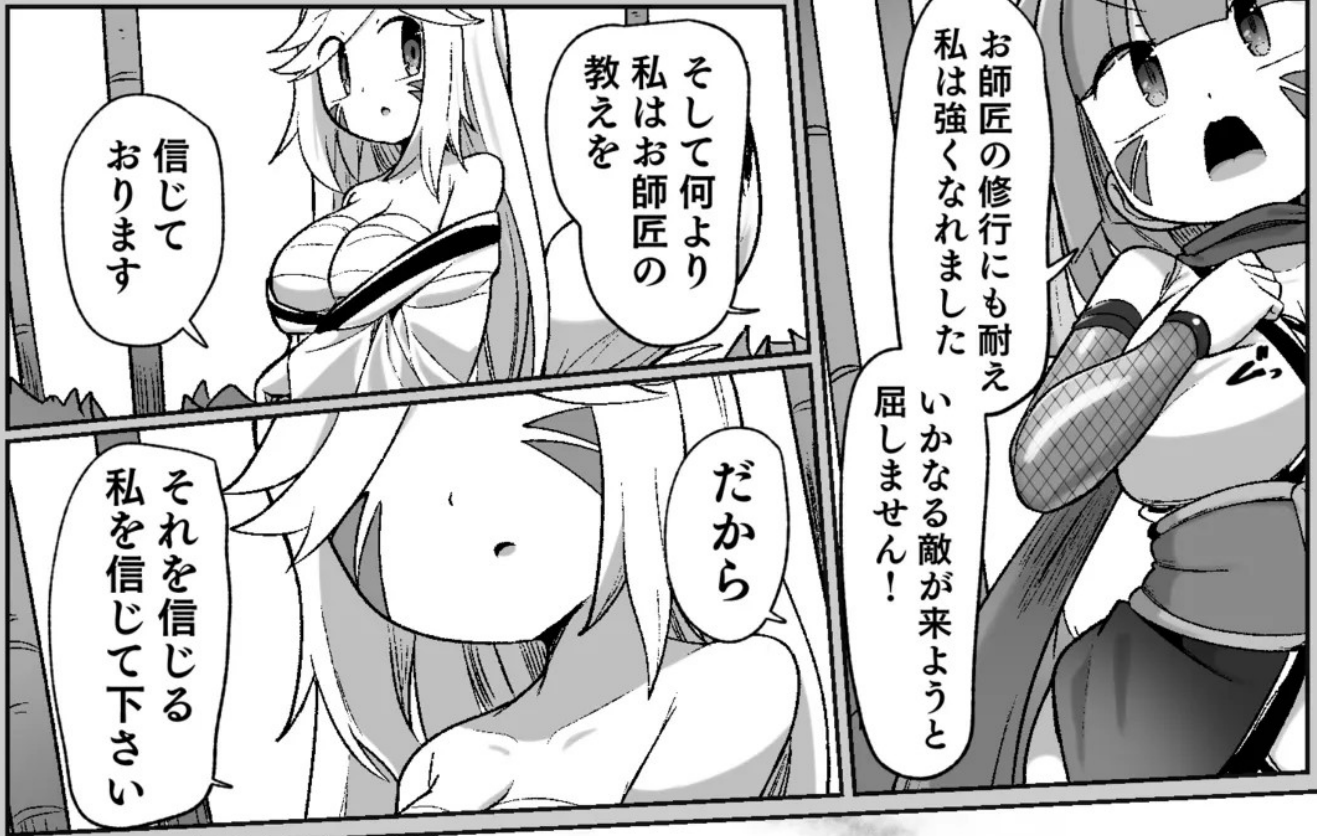


身体も
言う事が
効かなくてな



お師匠！
安心して下さい

私ならやれます！



お師匠の修行にも耐え
私は強くなれました

いかなる敵が来ようと
屈しません！

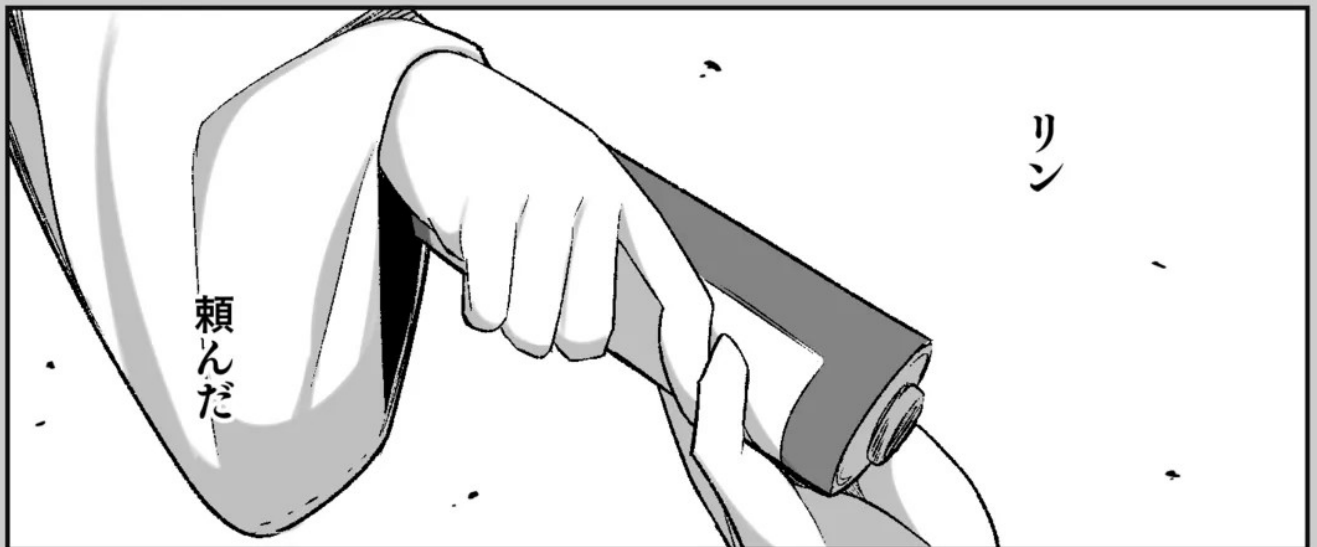
そして何より
私はお師匠の
教えを

信じて
おります

だから

それを信じる
私を信じて下さい

ああ



リン

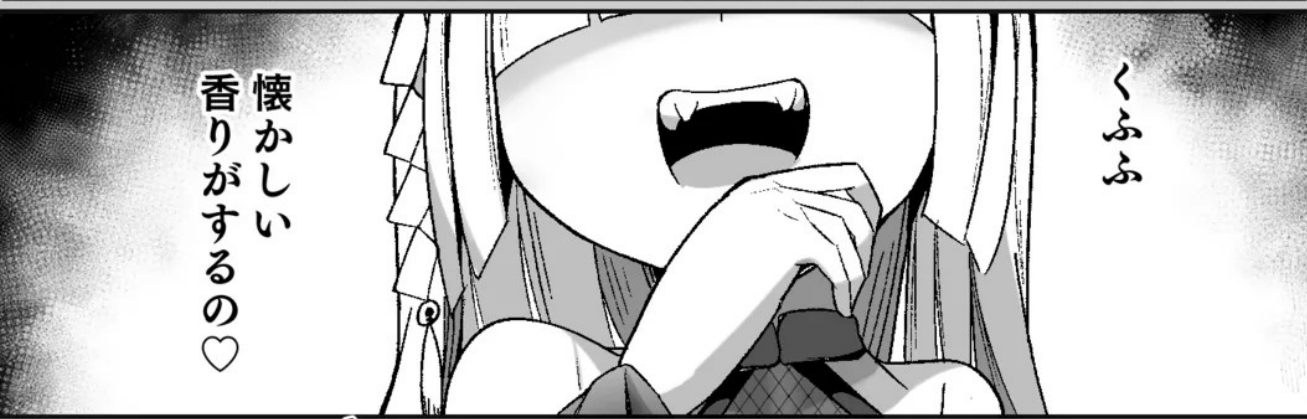
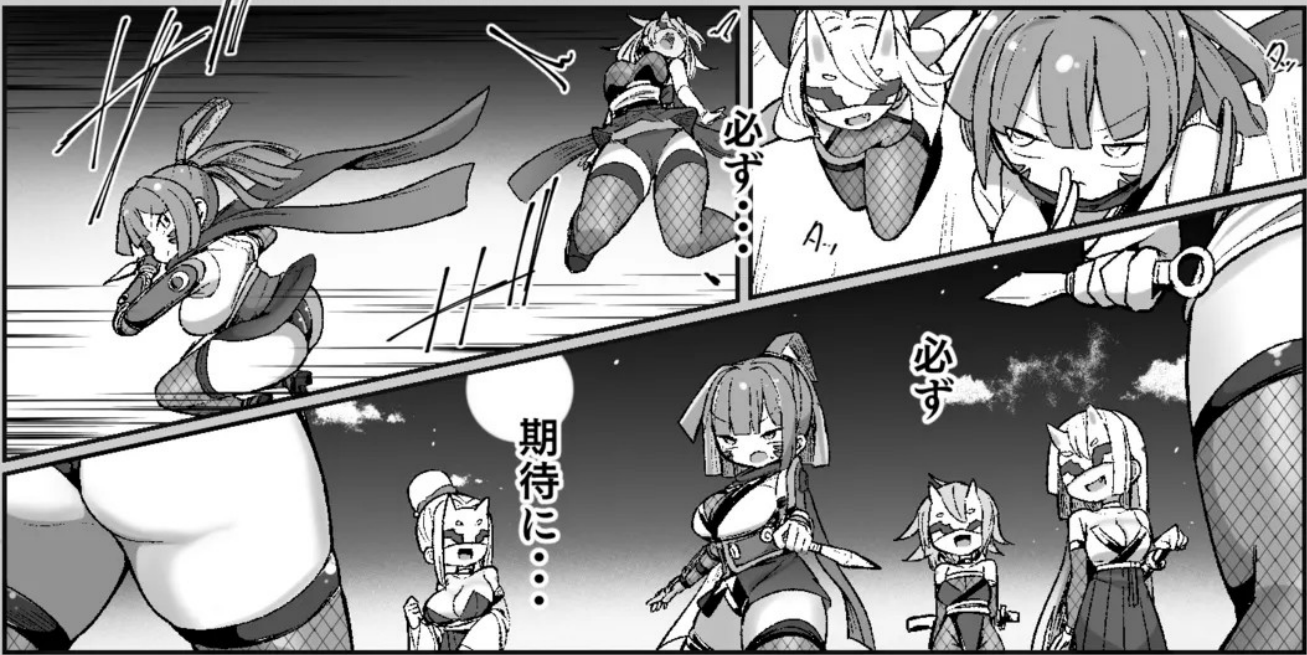
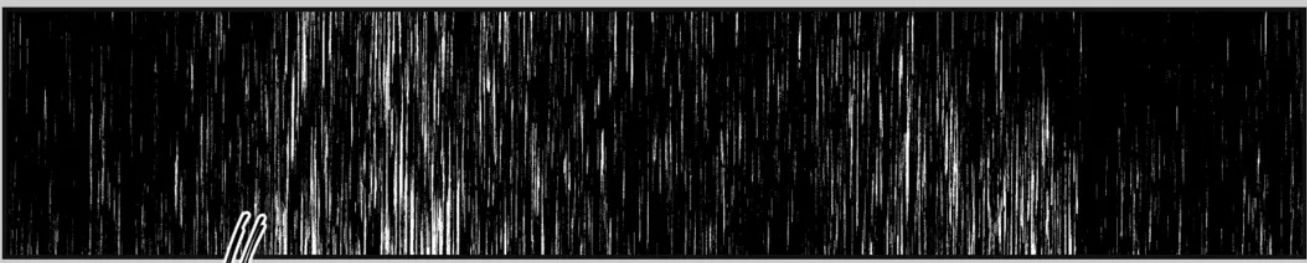
頼んだ



幼いころから
育ててくれた
恩に報いる為

必ず
遂行する...

!!



くはあ♡
毛わ♡
えらいメスの臭いじゃ♡
毛わ♡



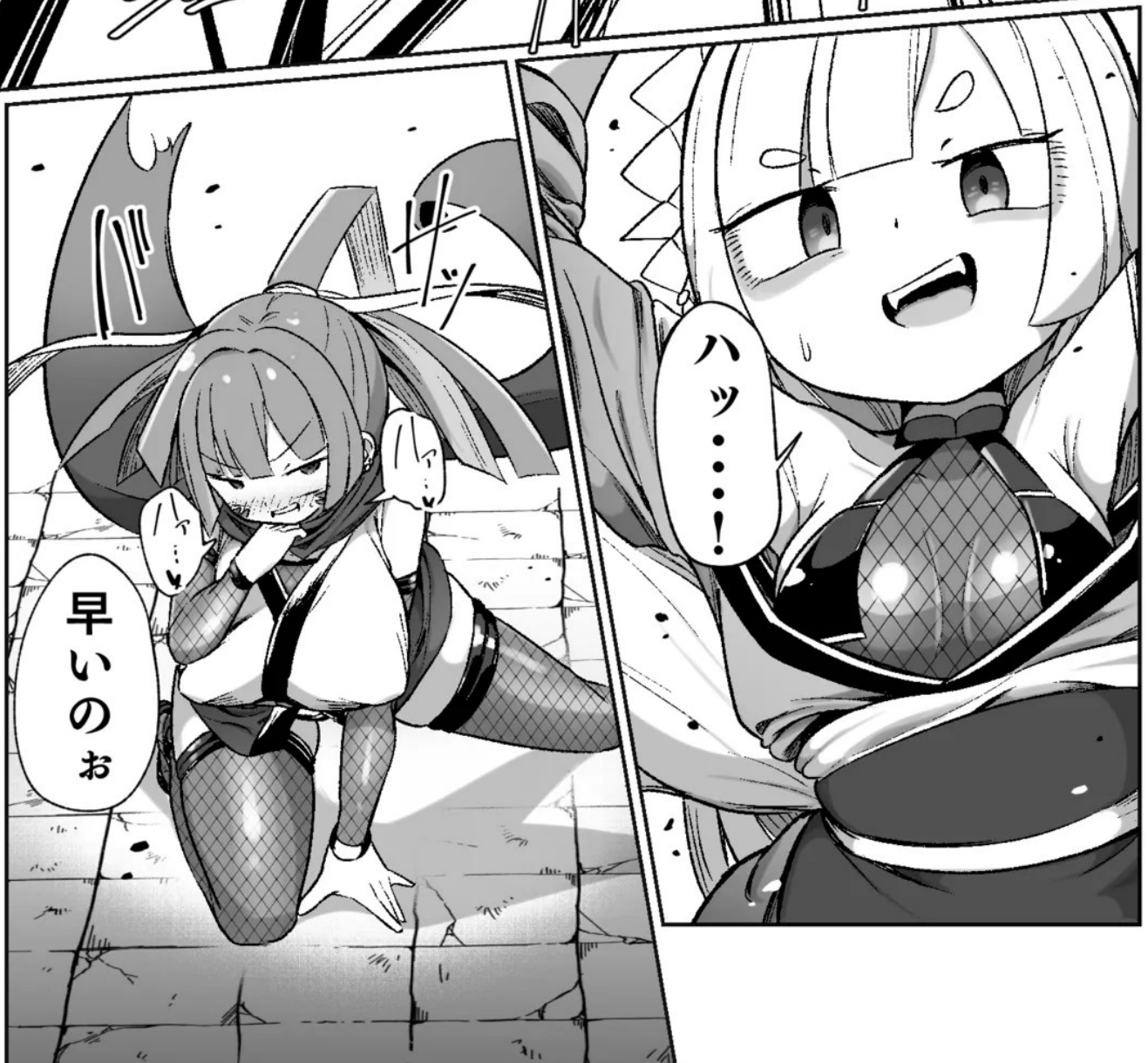
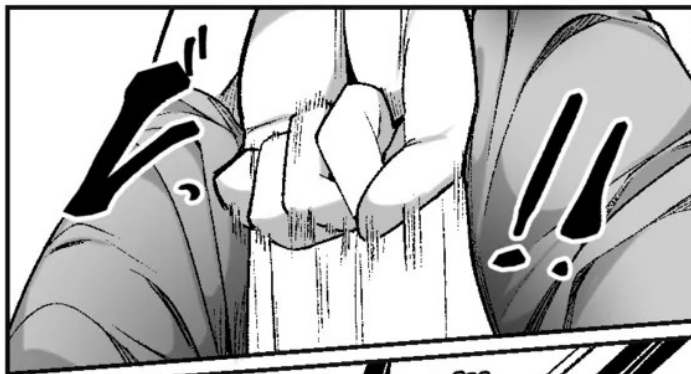
ぐっでぐでではないか♡
本当にスケベじやの♡

だ...だが...



これでも秘穴が見えんとは...

まあ予見はしておったが流石の豪胆さじゃ





耐えた甲斐があった!

これは好機!

サシなら

!?

負けない

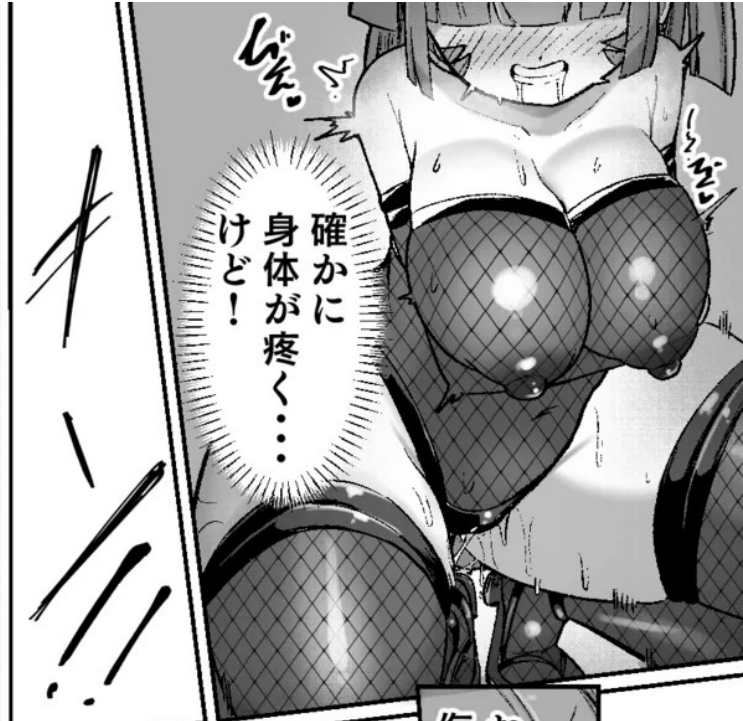
まてまて
まて……!

クッ

よし……
当たる!
勝てる!

くふふ
ようやるの
身体はまだ
疼いておる
だろうに

きいたぞ



助かった

よし...
直撃だった



お師匠とも
関係がある
みたい
だったけど
一体...

手強い
相手だった...



うぎツ!?

まさか
まだ...!

足が!

わあ!

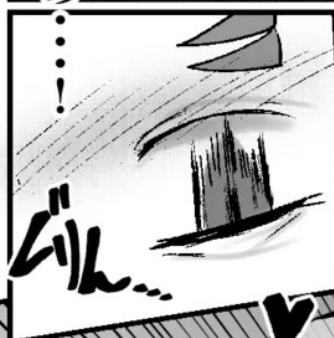
え!

わー



その位置は...!?

だめ...



ぐん...



針...!

やっぱり
まだ...

いや...
それよりも



おおおお

とろとろ
ちろちろ

私の秘穴の場所...!?



気が抜けていく...!!!

とろとろ
ちろちろ



こうなつては
 四つの秘穴を
 抜いたんじゃ
 何があつても
 もう動けん♡

あゝ

あゝ



なんで
 位置が...
 ああ、力が...

ふふふ

あゝ

あゝ



さっきのは痛かつたぞ
 お返しとていこうかの♡



あれだけ気を立たせば
 嫌でも見えてくるんじゃ

ましてや
 本気の仕合中じゃ

まあ

知ってるか？
その状態に
なると

快感に
めっぼう
弱くなるんじや

こんな風に♡



快感が
逃がせず
直に響く♡
じやろ♡

ほれ♡
もっと鳴け♡





おお!!
おれん

秘穴をつかれる
怖さが分かって
きたかの♡

おお
凄いい♡



だめえ...
これ...



気持ち
よすぎるう



これは
快感符...!?

その為にも
心を責めなければ♡



じゃが...

あと一つがまだじゃ
魂に見える秘穴を
つかねばヌシを掌握できぬ



もう淫乱
そのものじゃな

おおお



仕上げに
これじゃ

こいつは
面白いぞ♡



身構えるでない
すぐに始まる♡



前が見えない
これはなに...!

快感が
流れてくる...!



入ってくる
…!?



イキタイ♡

頭に何か
流れて…

イキタイ♡

負けたい♡
負けてイキタイ♡

むり♡

感情が
思考が

イキタイ



え…!



いやーうそー!
なんで!?

イキタイ…!
イキたくて
我慢無理い!

感情が
流れて
くるじゃろ?

なんで
私まで…!?

イキたくて
しようがない♡

456



しんがうら

安心せい♡

ヌシは我慢
する必要ない♡

これは記憶符
残した記憶を
追体験できる
符じゃ♡

びん



ワシが調教した
くノ一たちの記憶が
詰まっておる♡



んがうら

そのふやけた状態で
焦らしと絶頂を
繰り返させてやる♡



ちなみにそやつは
三日三晩焦らしに
焦らしたくノ一の記憶じゃ

おあ

絶頂しても
すぐ欲求が
限界までくる
そしてまた...

いっ...

頭がやける...

だめ...
抗わなきゃ...!

負けたい♡

くうッ!

もう我慢
無理ですう♡

負けました♡
勝てません♡

いや...!

あ♡あ♡

だから絶頂
お願いします♡

また
感情が...!

踏まれるの
気持ちいい♡

負けたい♡

それだけは
絶対ダメ!

まだチャンスは
あるんだ...!

押し流されちゃ
だめだ!

くふふ
辛そう
じゃの♡

だめえ!



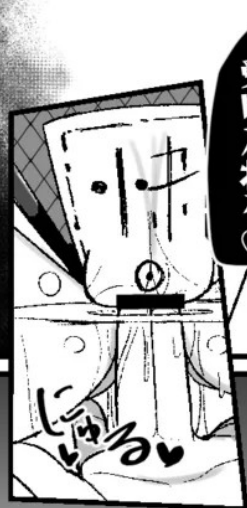
だがヌシも
理解し始めてる
のだから？

記憶の感情と
思考が重なって
きとる



快感を優先させ
その上被虐の快感を
得ようとは……♡

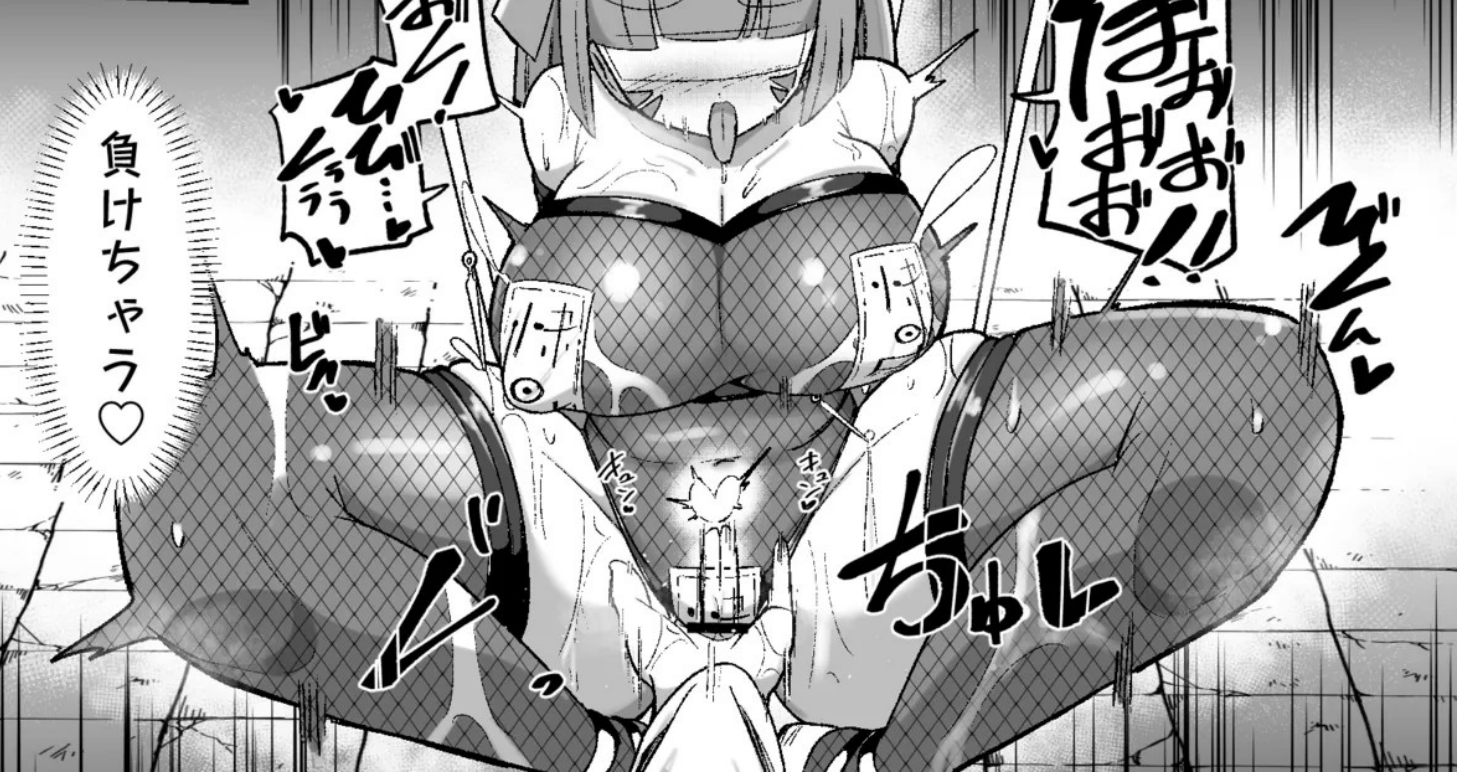
情けないくノ一じゃろ
大事な任務あるだろうに



ほう
受け入れろ♡

負かして
やろうか？

なあ……



負けちやう♡

おほおほ!!

ちゅレ

よいぞよいぞ♡
そのまま負けを
心にきざめ♡

記憶の感情と己を
重ねろ♡
負け癖をつけろ♡

負けたい♡
負けたい♡
いや!
負けない!!

私は違う...!!
いくらやられても
絶対負けない

修行を
思い出せ

もうむりい
イカせてえ♡

だまれ!

無理するでない♡
ヌシの心は既に
犯されとる♡

入ってくる記憶に
ゆだねろ 従え♡
そやつも
もう果てるぞ♡





一緒に果てろ♡



お師匠…



気持ちいい♡

だめ…

記憶に
おされて…



おおおほい

快感で頭が…♡





あやつの
本性をな♡

とぼけるでない
今も師を思っ
いたのだろうか？

な、何を言ッて…

なれば
教えねば
ならぬな

うすうす
勤づいて
おるんじやろ？

ワシらが対峙
した事



そして

その
結果すらも♡



いやーやめて！

折角じゃ
その答えを
見せてやろう

その時の
記憶も
しっかり
あるのでの♡

だめじゃ♡
ヌシには見る
義務がある♡



見たくない!

知りたくない...!

こわい...

お師匠...!

...!?



だめえ!

いや...!



だめ!



あ...



お師匠...!

いやだ!

ビュ

ビュ



私が退治
します！
だから
お師匠！！

お師匠！！
やめて下さい！
こんなヤツに
頭を下げないで
ください！



大事な任務より
快感を選んだ♡

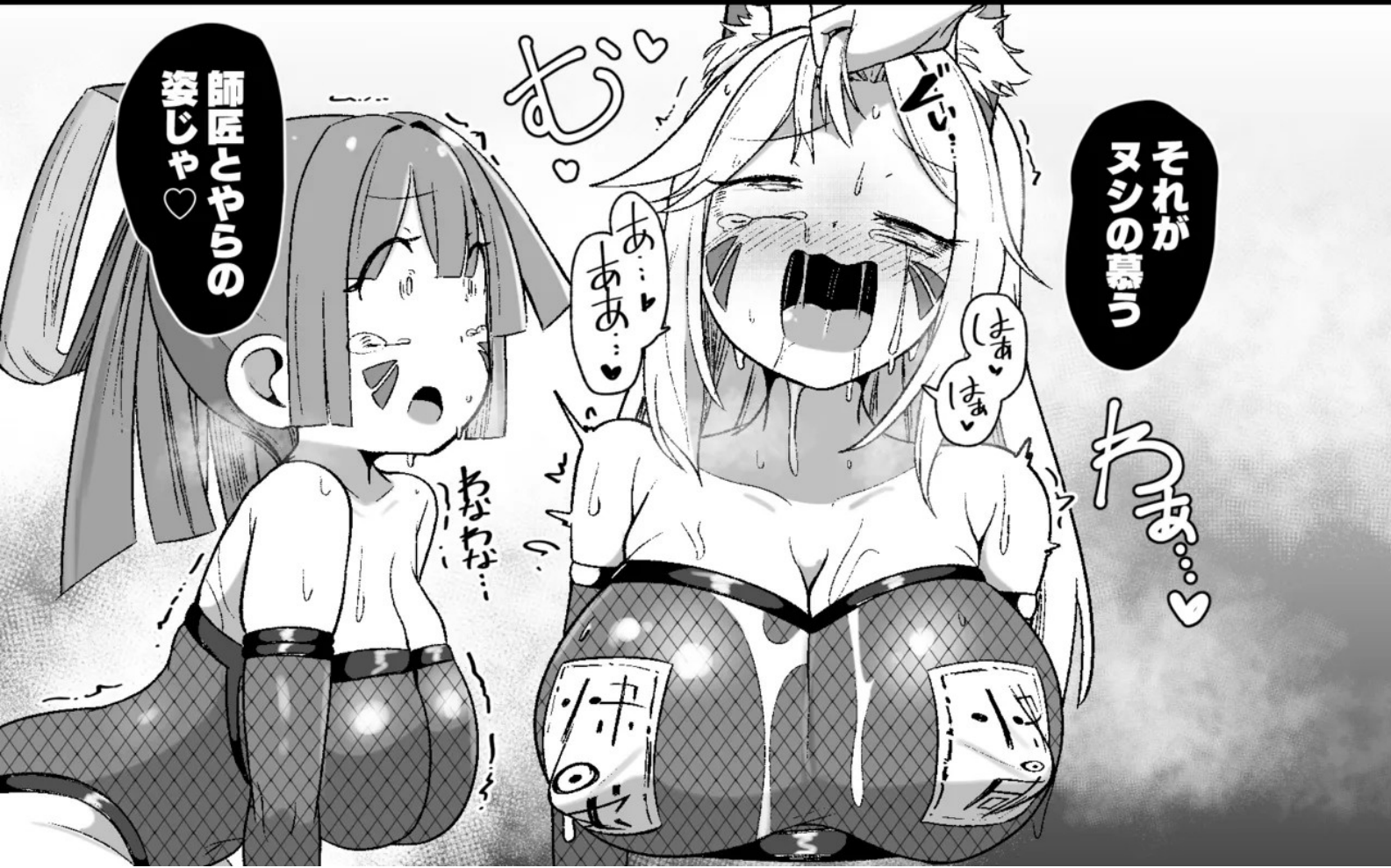
コヤツはもう
心から屈しておる

!?
無駄じゃ



ただただ
快樂を
優先する
浅ましい
メス

忍びとしての
大儀も
主への忠義も
忘れ



師匠とやらの
姿じゃ♡

それが
又シの囁き

わ...ま...♡

む♡

あ...あ...

は...は...

あな...



コヤツのせいで
国すら傾く♡
主の為に動く忍びが
足を引っ張るなど
笑止千万

ほんに
情けない
忍びじゃ♡



なんて情けない
ツラじゃ

これが本当に
忍びか？

この恥知らずの
マゾクノ一めが♡

いい加減に



いい加減にしろ!!

この人でなし!!

あゝあゝ...♡





これでヌシも
終いじゃ

心の秘穴を
貫いた

あとは
ヌケおちる
だけじゃ♡



むき出し過ぎじゃ

丸見え
じゃぞ



あ…は…
ああっ!

あ…
ピクピクピク

ピクピク



あらがえぬ♡

どんな術も
真に届き



とうとう
落ちたの♡
これでヌシは
完全に腑抜けじゃ♡



天下葬縛術



あ……
ああ……!

これはヌシの
心体を掌握し
操る術じゃ♡

ワシの言葉は
染み込み抗えぬ

まあ秘穴が
回復するまで
時間だけだかの
もって

十日程じゃ

十分ゆず♡





敗北を噛みしめ
味わいながら

いつもやる方法で
自らを慰めよ



終わったの♡
では
最初の
命令じゃ



自分で
慰めます…♡

ああ…
はい…♡

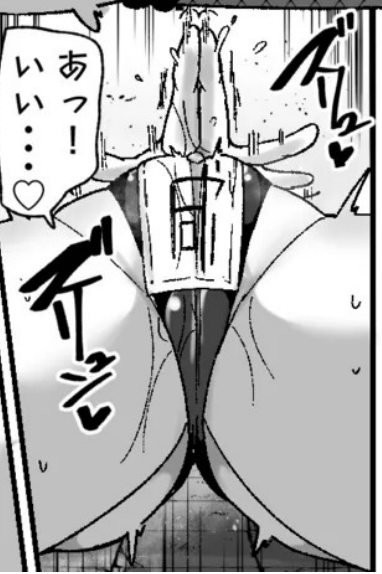


あ…
乳首い…♡

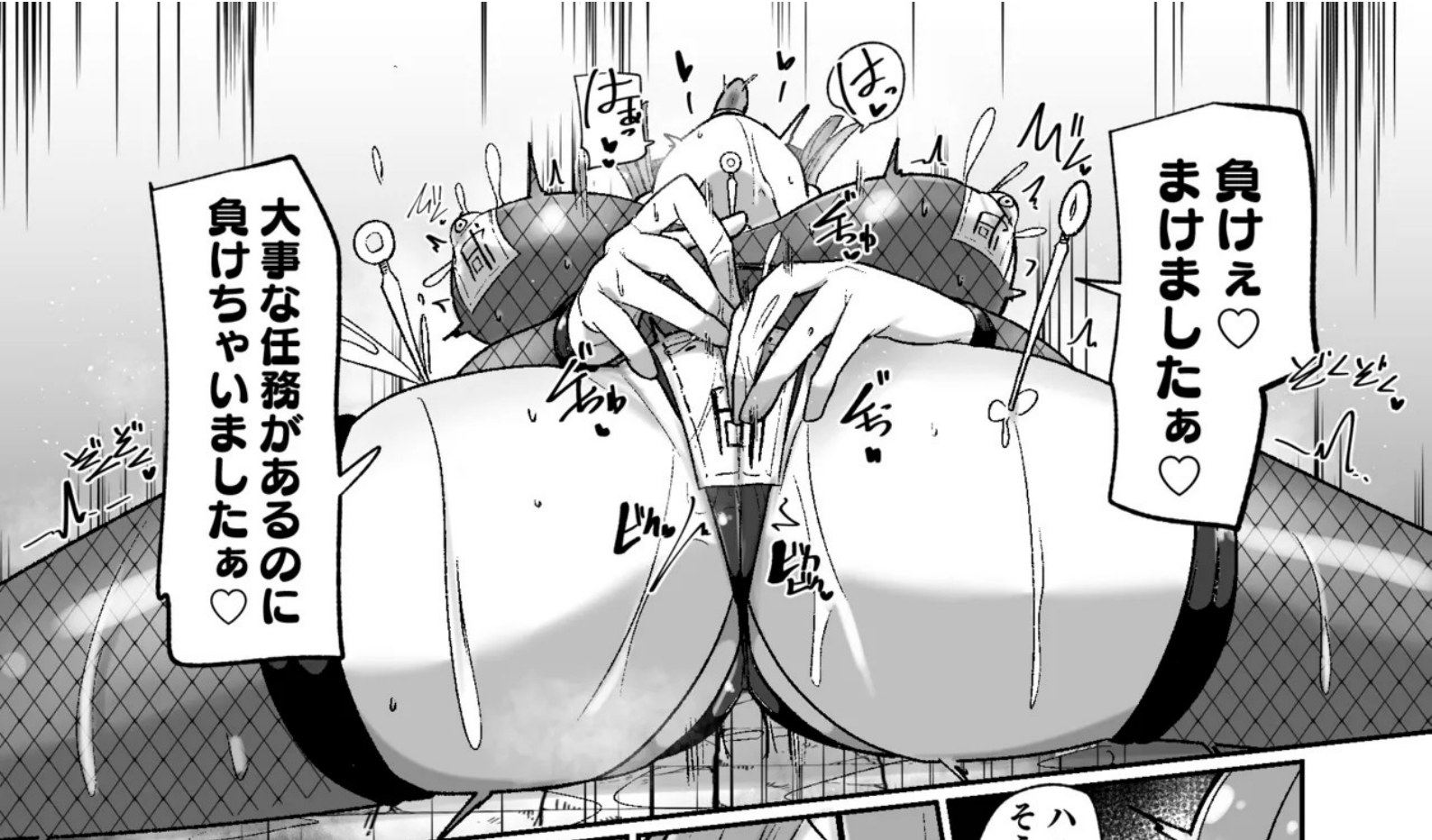


自分でするの
気持ちいい…♡

いい…
ですら♡



あっ!
いい…♡



大事な任務があるのに♡
負けちゃいましたあ♡

負けえ♡
負けましたあ♡



ホレっ!

師弟ともに
負けたんじゃ♡

もって
叫ばぬか
この負け犬♡

ハハハハハッ
そうじゃそうじゃ



情けない
姿じゃ♡
無様すぎて
笑えるぞ♡

ハハハ♡

ああッ♡
キモチイイ
負けるの
気持ちいい♡



最初のあの
すました顔が
うその様じゃ♡

マン女!

ほらイケー!

ビクッ



クワッの
専業にやめなごっ♡



だめじゃ♡
もう我慢ならぬ♡



あくいかん♡
加虐心が止まらぬ♡

秘穴が反応
してまう♡



ハアハア♡
デカいじゃろ♡
昂ると
止められないんじや

そ、それを
どうするの...!!

決まってる
じゃろ♡



ヌシの真たる所以を
塗りつぶしてやる



今からこのマラで
ヌシを犯しつくして



師への思い
ではなく

敗北の快樂を
ヌシの真に
変えてやる♡

え...!?
そんな事...!?

あ...

イクぞ♡

ぐわん...



良い声じゃ♡

かっは…!!



おっおっ!!

ヤンヤン♡

あああッ
入って…!!



だが
まだ足りん

もっともっと
敗北を噛みしめろ♡



気持ちいい♡

千ンポどちゅうられるの
良い♡気持ちいい♡

負け…!!
負けて感じり♡

あん!
あん!





こんな風にの！



これでヌシは
師匠の事よりも
敗北の味が
真となる♡



あゝ
塗りつぶしたか♡
なんと浅はかな♡



こんなの
勝てない
負けちゃう♡

あっ♡あっ♡

おおおおおっ♡

キモチイイ♡



そのまま
負けをかみしめて
イケ♡

師弟共に
ワシに媚びろ♡

ごめん
なさい♡



当たり前じゃ
ヌシ達のような
メスマゾが
ワシに勝てる訳
ないじゃろ♡



お師匠…
お師匠…
お師匠…



ごめんな
さい…
さい…
さい…

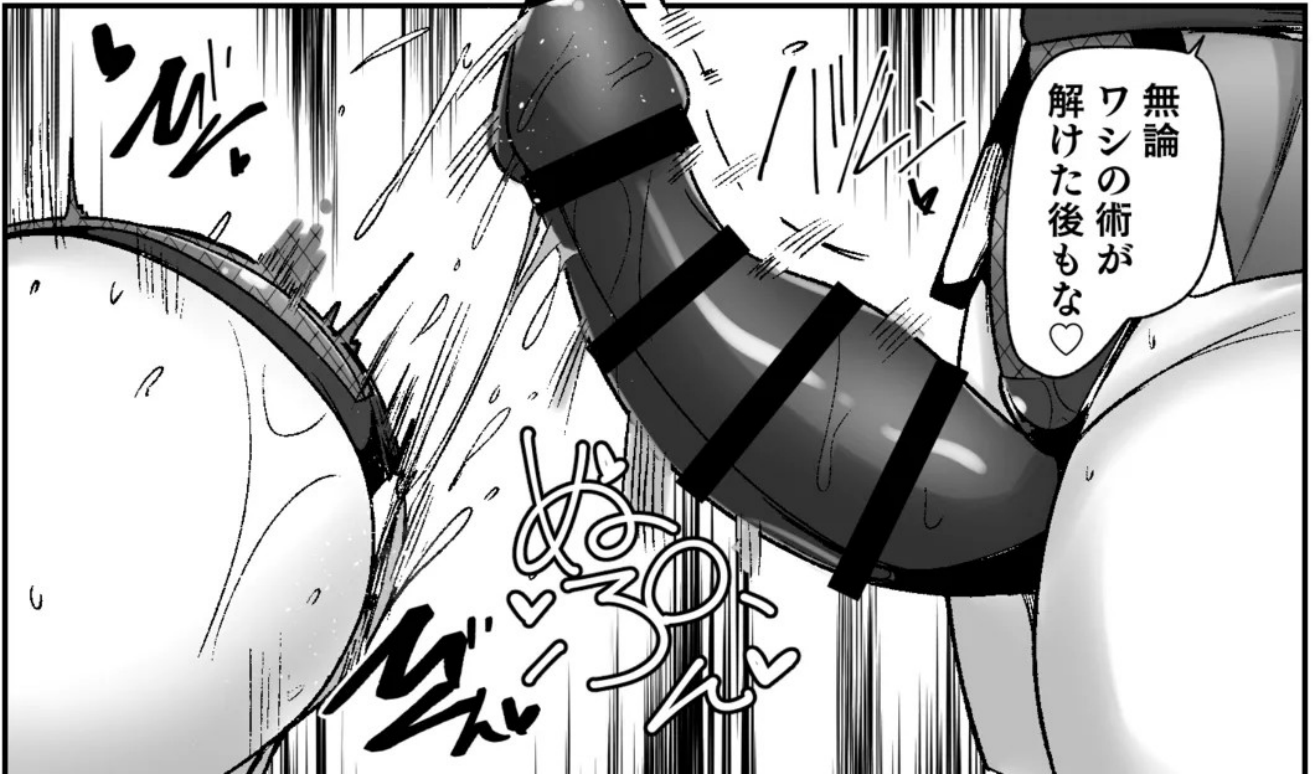
ホントに…



これで本当に
敗北の快楽を
求める

染まり
きつたの

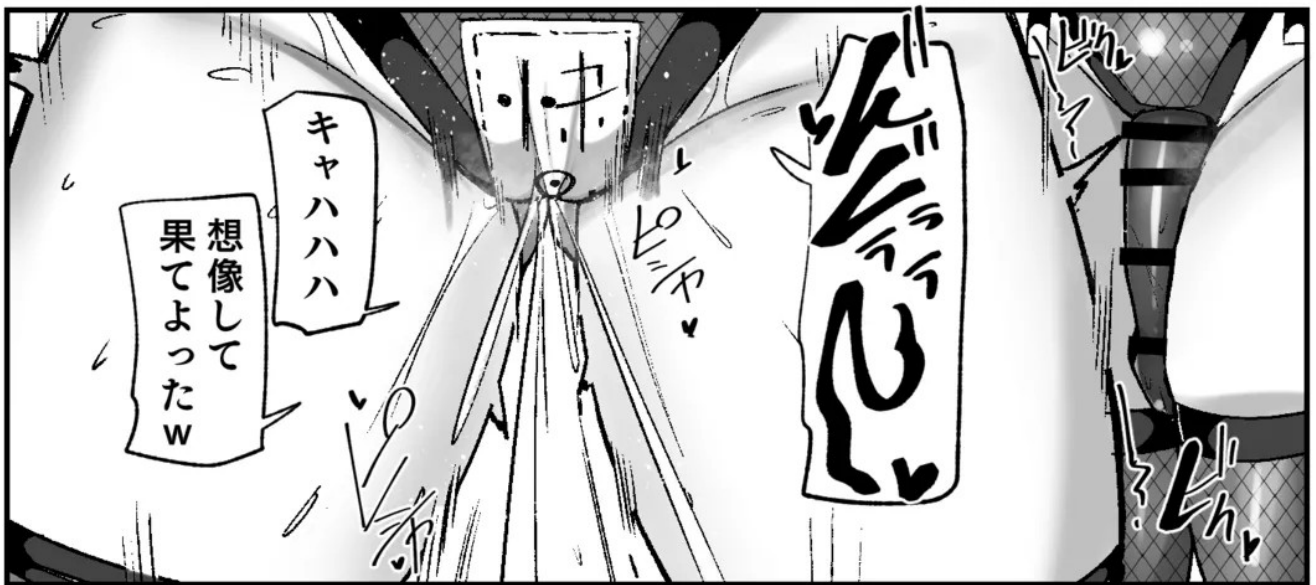
みじめな
くノ一の
完成じゃな

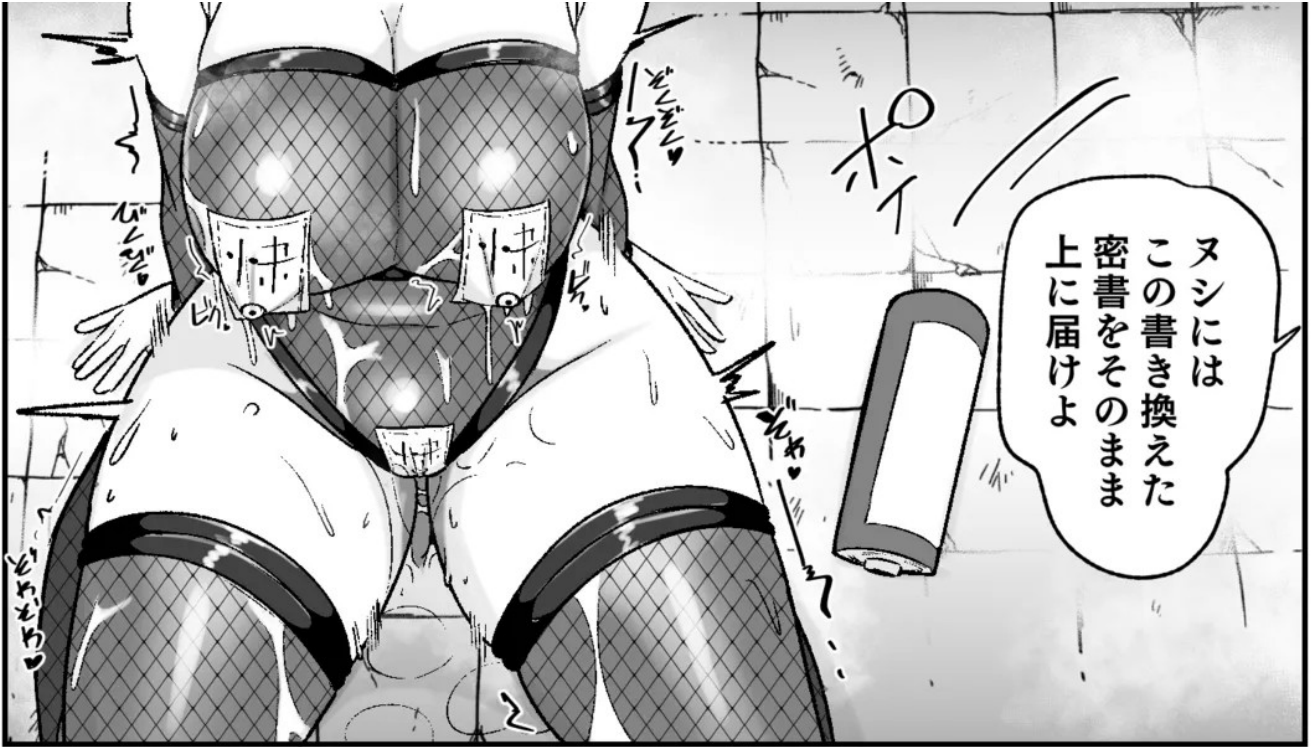


無論
ワシの術が
解けた後もな

お師匠…

お師匠…
お師匠…
お師匠…





ヌシには
この書き換えた
密書をそのまま
上に届けよ



自らの手で
仕える国を
貶める事を
嘸みしめるんじゃない♡



それが届けば
ワシらの国は
当分安泰じゃ
無論
ヌシらの国は…♡



あ…
それとじゃ♡



感謝しても
よいぞ♡

ヌシにとっては
ご褒美になるかも♡

密書を届けた後は
どうせ暇じゃろ？

命令じゃ♡

師匠の元へ
おもむき

今日の事を
包み隠さず

全てを
報告せよ♡

その後は
今日された事を
オカズに術が
切れるまで
自身を慰めよ

術が切れても
習慣づくように
丹念に負け
噛みしめるんじゃぞ

わかったな
マゾクノニ♡

じゃあの♡

まじ

お師匠……

んん

んんんん